

小山町の谷津田

木山慧（千葉市立大椎小学校4年）

1月28日、ぼくは小山町の谷津田にいった。最初に、「アザミ谷」に自然観察に行く。しばらくすると、ノスリを見つけた。ノスリはハトぐらいの中型のタカだ。そのままくもくと歩いていくと、ナイフのような形の木の皮があった。使えそうなので持っていこう。森のほうに行ってみると、大きな木があって、それに木がつるのようになりみついていた。ぼくは少しずつ木につかまりながら登っていく。気分は遭難した人を救助に向かう山岳救助隊だ。他の子はすすい登って行く。（言っとくけどぼくは生まれてから一度も木に登ったことがないぞ。）もといた場所にもどるとおぞうにとおもちを作っていた。

昼ご飯を食べると近くの山に探検にさそわれた。神様から運動神経というおくりものをもらいそこねたぼくにとっては大変なことだった。

ただでさえブカブカの長ぐつで急こうばいを登るのだから、登りにくいと思ったらありゃしない。（途中で、「ファイトーっ！っばーっ！」というCMみたいな状況になった。）

ようやく登りきると丸太のシーソーがあった。かたほうのうでに一人、もうかたほうのうでに5、6人が乗っていた。どうやらかたほうのうでの人を飛ばそうとしているようだ。ぼくも乗ってみると、30秒もしないうちに、ドテ!!、ポキ!!、グシャ!!と地面に落ちた。

次に開拓地に向かう。開拓地の奥は急な斜面になっていてふかふかの草の上になるとすごく気持ちがいい。そしてそこから何回か転がり落ちるということをくり返していると2時になった。（急な斜面をおりているところを書くと大変だからパス！）その後は自転車で一人で家に帰った。今日、谷津田に来て「こんなところがある!!」とよくわかった。

もちつき

江澤元太（千葉市立あすみが丘小学校1年）

ぼくは、いつもかよっている小山町でもちつきをしたよ。ぼくたちが、いっしょうけんめいそだてたみどり米で、もちつきをしたよ。

そのままつかないで、むしてから、ついたよ。お米をむしているあいだに、木のぼうを火の中に入れてもやして、「ふっ」とふいて火をけして、けむりであそんだよ。

お米がむしあがって、おもちをつくときがきたよ。みんながならんでいたの、ぼくもおもちをつくれつにならんだよ。まず、ほそ川先生が、ごはんをきねでやわらかくしてくれたよ。そのあと、こどもたちがおもちをついたよ。はるくんやももちゃんやゆうなちゃんやゆうなちゃんのおとうとのえいじくんが、先についたよ。えいじくんはきねがおもたくてもちあがらなかったの、たか山さんがうしろからもちあげてくれていました。ひとりがつきおわると、たか山さんがこねてくれた。いよいよじぶんのばんがきたよ。どのくらいおもしろいのかときどきしたよ。きねをあたまの上までもちあげたら、「力もちだね。」っていわれたよ。うれしかったよ。おもちをついたら、ふにゆっとした。きねはおもかったけど、もっとやりたかったから、がんばって七回ついたよ。

いよいよ、もちだいい号ができた。もちがおいてあるところがたくさんの人でパンパンになって、ぼくはひとがいなくなつたよ。もちがごはんとおなじにおいしかった。ぬるぬるで、手におもちがくっついたよ。手にくっついたおもちをはしでとって、あんこにからめてたべたよ。おいしかったよ。つきはきなこをたべようとおもったけど、きなこやなっとうやのりしょうゆやだいいこんに、いっばい人がむらがついていたので、またぼくは人がいなくなつたよ。きなこもおいしかったよ。でも、ぼくが大すきななっとうとおもちをからめるやつがなくなつたので、がっかりしたよ。たちなおって、きなこあんこのをつづけていっばいたべたよ。

そのつぎに、だいい二号もついたよ。一回めよりレベル1アップしたよ。だいい二号のおもちもおいしかった。でも、だいいこんのはきれいなのでたべなかった。さいごに、だいい三号もたべたよ。三号では、ずんだあんこのもちもたべたよ。もっとたべたかったけど、おにいさんたちがでっかいやきもちをやっていたので、おもちがなくなつた。ぼくもやりたかったけど、ざんねんだけど、できなかった。

もちつきは、たのしかったし、たべるのもおいしかったので、また、たべたりついたりしたいです。



里山たんけんレポート

第 85 回 下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い

2007年2月4日(日)晴れ

風はやや強かったのですが快晴でした。今朝はハンターが7人も入っていてどうなることかと思いましたが観察会を始める頃には帰って行きました。

今日は唐沢孝一先生(都市鳥研究会代表)をお迎えしての観察会でした。鳥談義をしながら、ニワトコやサンショウの葉痕を見たり、アカガエルの卵塊を観察しながら、散策しました。田んぼでは、もう、ニホンアカガエルのオタマジャクシが孵っていました。暖冬のためでしょうか極端に早い孵化です。メダカもたくさん水面に出ていました。ペアーのモズも観察されました。たくさんのアオジ、カシラダカ、空にはノスリも舞いました。唐沢先生は観察会開始前にウソの声を聞いたとのことでした。観察会の中ではベニマシコに出会いませんでしたが終了後に会うことが出来ました。また、オオタカも飛びました。ウソもベニマシコもこの谷津にいつていることが確認できました。

(参加者 大人9名; 報告:網代春男)

第 69 回 下大和田 YPP「林でクラフト&大工仕事」

2007年2月18日(日)雨

あいにくの雨のYPPとなりました。これまで69回の中で最初から強い雨に見舞われたのは今回で4回ですからYPPは天気に恵まれているのですが・・・真ん中の水路から水があふれ田んぼの畦を洗い流していました。そんな雨でもいつものメンバーが集まり、枯れたシラカシの周りにロープを張って立ち入りを制限する区域を作りました。折れた枯れ枝が落ちてくるので大変危険な状態で、実際に高い木の上の方に引っかかっている落ち枝もあるので皆さんも十分に気をつけて近寄らないようにして下さい。足を止めて林のイヌシデをよく見ると垂直の幹に水の流れができていました。小枝から太い枝、そして幹、根へとうまく雨水が集められて川のように流れていました。上に向かって枝を広げるという当たり前の木の形がこんな役割をしていることに驚きで雨の日ならではの発見でした。足元ではタチツボスミレが開花し、シュランが蕾をつけていました。暖冬の今年は春の訪れがとても早いようです。

(参加者 大人9名; 報告:高山邦明)

第19回 小山町自然観察会

2007年2月25日(日)晴れ

暖冬の今季にしては珍しく冷え込んであちこちに背の高い霜柱が立ち、田んぼにはしっかりと氷が張っていました。今年のニホンアカガエルの産卵は2月10日ごろからはじまり、最初の頃にほとんどが産み付けられたようですが、その後も産卵は続いているようで産んだばかりの卵塊も見られました。氷の下の卵をみんなでじっくり観察すると孵化しているものもあり、まだ生まれたばかりのようで、黒い棒のようなオタマジャクシが動かずじっとしていました。ふるえ上がるような冷たい風がふいていましたが、子どもたちは元気いっぱい霜柱を踏みつけたり、竹で氷を割ったり。望遠鏡でツグミやモズ、ビンズイなど鳥たちの様子の観察もしました。



みんなの田んぼでアカガエルの卵を観察

観察の後、竹林の手入れをしました。折れたり、倒れたりしている竹を切って運び出す作業です。子どもたちものこぎりを使って太い竹を切ってみたり、みんなと一緒に竹を引っ張ったり、大活躍してくれて林がとてもすっきりしました。

(参加者 大人7名、小学生5名; 報告:高山邦明)

谷津田・季節のたより

下大和田

- 2月 1日(木) モズがペアになっている様子を観察(網代)
- 2月 4日(日) ニホンアカガエルの孵化を確認(高山)
- 2月18日(日) シュランのつぼみを見つける(YPP)

小山町

- 2月 1日(木) 小山の上空を雄々と飛ぶノスリらしき鳥を見掛ける(松下)
- 2月 9日(金)・10日(土) 夜9~12時、あざみ谷や復活させた田んぼで産卵に集まったニホンアカガエルを観察(齊藤・高山)
- 2月10日(土) 早朝の谷津でモズがウグイス、ホオジロ、コジュケイなどの鳴きまね(高山)
- 2月17日(日) アカガエルの卵塊が増えていた。シジュウカラ、ヤマガラがさえずり、谷津下流の板倉町でヒレンジャクを観察(高山)
- 2月21日(水) トウキョウサンショウウオの卵塊を確認(齊藤)、17日よりアカガエルの卵塊がさらに増える(高山)
- 2月22日(木) ツクシが出ていた(齊藤・加藤・須田)
- 2月25日(日) ニホンアカガエルの孵化を確認(高山)



今年も飛来したヒレンジャク(2月17日板倉; 高山)



産卵に現れたニホンアカガエル(2月10日23:50 小山、高山)

谷津田いきもの図鑑 No.3 「タネツケバナ」

お米は苗代にまく前に種もみを水につけて芽を出させます。昔はこの花が咲くころにこの作業をしたと言われていました。直径が4ミリくらいの小さな花ですが、田起こし前の田んぼに群生すると白いじゅうたんのようで春一番にとてもよく目立つ花です。葉は食用になり、ちょっとピリ辛い味はクレソンに似ていてとてもおいしい春のサラダです(クレソン-正式名オランダガラシ-はヨーロッパから明治時代に持ち込まれた野草ですが、タネツケバナは日本原産)。下大和田でも小山でもたくさん見られますのでぜひ試食してみてください。花は3~4月が盛りですが、ほぼ一年中咲いているのが見られます。花が終わると細長いさやの中に種ができ、熟したさやにさわると2つに勢いよく割れてぜんまいのように反り返り種を遠くまで飛ばします。アブラナ科タネツケバナ属、高さ10~30センチ、越年草(高山邦明)



タネツケバナの花とたね

イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ？ と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、YPPの活動は大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうして、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

連絡先(いずれも): ちば環境情報センター(TEL&FAX:043-223-7807 E-mail:hello@ceic.info/)

ご注意: ・車でこられる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などにおかないでください。

・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。

・小学生以下のおさんは保護者同伴で参加ください。

・けがや事故がないよう十分な注意は払いますが、基本的に自己責任でお願いします。

第70回 下大和田 YPP「味わおう！春の谷津田」

ウグイスの声が響き渡る谷津を散策し、春の野草を摘んで、天ぷらやおひたしにして味わいます。今年の春はどんな味かな？鳥たちのさえずり、動き始めた田んぼの生きものなど、春の息吹をたっぷり感じにお出かけ下さい。

日時: 2007年3月18日(日) 10:00~14:00 *小雨決行

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(ちば・谷津田フォーラムのホームページで地図をご覧ください。また、ご連絡いただければ地図をお送りします。)

集合: 中野操車場バス停に10:00(JR千葉駅10番成東あるいは中野操車場行きのちばフラワーバスで45分<千葉駅発8:53、9:08、9:23など> 料金は520円)

持ち物: 弁当、飲み物、敷物、お椀、小皿、はし、長靴、軍手など。

参加費: 500円(資料・食材費など)

主催: ちば環境情報センター(ホームページ <http://www.ceic.info/>)

共催: ちば・谷津田フォーラム(ホームページ <http://yatsuda.2.pro.tok2.com/>)

第20回 小山町自然観察会

草木が花開き、小鳥たちがさえずり、田んぼではオタマジャクシが泳ぐみどころ一杯の春の谷津田をゆっくり歩きましょう。

日時: 2007年3月31日(土) 10:00~12:30 *小雨決行

場所: 千葉市緑区小山町 リンドウ広場

持ち物: 長靴、軍手、筆記用具など

参加費: 100円(資料代など)

第87回 下大和田 4月の谷津田観察会とごみ拾い

谷津田も、山も春の花で一杯です。今年は暖かいので虫たちも姿を見せてくれるでしょう。春爛漫の谷津を散策しましょう。

日時: 2007年4月1日(日) 10:00~14:00 *小雨決行

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(同上)

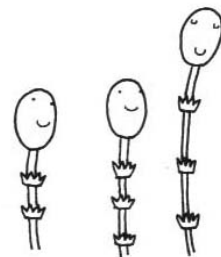
集合: 中野操車場バス停に10:00(同上)

持ち物: 筆記用具、弁当、水筒、長靴、帽子、敷物、軍手、ゴミ袋など

参加費: 300円(資料代など)

主催: ちば・谷津田フォーラム

共催: ちば環境情報センター



編集後記 *昨年みんなでアシ原から復活させた小山の田んぼにニホンアカガエルが産卵してくれました。アカガエルは千葉市や千葉県最重要保護生物に指定されているように大変貴重な生き物です。減少の一番の原因は冬場に産卵ができるような湿田が減ったこと。不思議なことにアシ原に水たまりがあっても卵を産まず、田んぼでなければダメなのです。2月10日の真夜中にみんなの田んぼで産卵に集まったたくさんの親ガエルの姿を観察しました。小さな田んぼですがよみがえった翌年にすぐアカガエルが産卵してくれたことに感激です。今年も下大和田と小山での米づくりを続けていく予定ですのでよろしくお願いします(高山)